

(コロナール・カラーベスト・波形石綿スレート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗り回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に取り除いて下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルパワーシーラー 主剤 硬化剤 無希釈	14kg 1kg	0.10~0.20 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	2時間以上 3日以内
3.上塗り	タテイル 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	10kg 2kg 0~6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	80~120m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	エアレス 4時間以上 ローラー 16時間以上

●タテイルパワーシーラー

(弱溶剤2液反応硬化形ウレタン系シーラー)

■荷姿

15kgセット 主剤:14kg
硬化剤:1kg

■可使時間

5時間以内(23°C)

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナール・カラーベスト・厚型スレート瓦・等

●タテイル

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料)

■荷姿

12kgセット 主剤:10kg
硬化剤:2kg

■可使時間

5時間以内(23°C)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナール・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・垂鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・タテイルパワーシーラー及びタテイルは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、タテイルパワーシーラーの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・タテイルは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・コロナール・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・タテイルパワーシーラー及びタテイルは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(トタン・鋼板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面目粗し後、清掃ケレンを行って下さい。②コケ・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルエポサビ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~2ℓ	0.16 (kg/m ² /回)	100m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイル 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	10kg 2kg 0~6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	80~120m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	エアレス 4時間以上 ローラー 16時間以上

●タテイルエポサビ

(弱溶剤2液反応硬化形エポキシ系樹脂防錆プライマー)

■荷姿

主剤: 14.4kg
16kgセット
硬化剤: 1.6kg

■可使用時間

8時間以内(23°C)

■適用基材

金属系屋根・鋼板・亜鉛メッキ鋼板(亜鉛メッキ鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)

■標準色 3色

ホワイト(遮熱用)
ブラウン
グレー

●タテイル

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料)

■荷姿

主剤: 10kg
12kgセット
硬化剤: 2kg

■可使用時間

5時間以内(23°C)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・タテイルエポサビ及びタテイルは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルエポサビの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルエポサビ及びタテイルは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。
仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

(サイディングボード・押出し成形セメント板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下塗り	タテイルシーラー 無希釈		15kg	0.10~0.20 (kg/m ² /回)	75~150m ²	※1	1~2回	2時間以上
	クオリティEPOサーフ 主剤 硬化剤 清水		4kg 12kg 1~2ℓ	0.18~0.25 (kg/m ² /回)	64~88m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	16時間以上 7日以内 工程内4以上
3.上塗り	タテイル 主剤 硬化剤		10kg 2kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	80~120m ²	刷毛 ローラー	2回	エアレス 4時間以上 ローラー 16時間以上
	塗料用シンナーA		0~6ℓ			エアレス		

●タテイルシーラー

(水性1液カチオン形万能エポキシシーラー)

■ 荷姿 ■ ※1 刷毛
15kg缶 ローラー
エアレス

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●クオリティEPOサーフ

(2液水性形エポキシ系サーフェーサー)

■ 荷姿 ■ 可使時間
16kgセット 主剤:4kg 4時間以内(23℃)
硬化剤:12kg

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・押出し成形セメント板等

●タテイル

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料)

■ 荷姿 ■ 可使時間
12kgセット 主剤:10kg 5時間以内(23℃)
硬化剤:2kg

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

注意事項

- ・クオリティEPOサーフは2液反応硬化形ですので練り混ぜ後、約20~30分放置し熟成させてください。
- ・クオリティEPOサーフ及びタテイルは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・クオリティEPOサーフは水性2液反応硬化形ですので間隔時間16時間は厳守してください。
- ・タテイルは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルシーラーはカチオン系塗料ですので、他種塗料との混合は出来ません。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、水洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下地調整	タテイルファイラー 清水	16kg 0.5~2.0ℓ	0.30~1.00 (kg/m ² /回)	16~53m ²	※1	1~2回	16時間以上
	タテイルアンダーEPO 清水	16kg 0.4~1.6ℓ	0.30~1.00 (kg/m ² /回)	16~53m ²	※2	1~2回	16時間以上
3.上塗り	タテイル 主剤	10kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	80~120m ²	刷毛 ローラー	2回	エアレス 4時間以上 ローラー 16時間以上
	硬化剤	2kg					
	塗料用シンナーA	0~6ℓ			エアレス		

●タテイルファイラー

(アクリルエマルション系微弾性シーラレスファイラー)

- 荷姿 16kg缶
- ※1 中毛ローラー(清水1.0~1.3ℓ)
多孔質ローラー(清水0.5~0.8ℓ)
ジュラクガン(清水1.3~2.0ℓ)

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディング
ボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルアンダーEPO

(水性1液シリコンエポキシ系微弾性シーラレスファイラー)

- 荷姿 16kg缶
- ※2 中毛ローラー(清水0.8~1.6ℓ)
多孔質ローラー(清水0.4~0.8ℓ)
ジュラクガン(清水0.4~1.6ℓ)

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディング
ボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイル

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料)

- 荷姿 12kgセット
- 主剤: 10kg
硬化剤: 2kg
- 可使用時間 5時間以内(23℃)
- 適用基材 一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

注意事項

- ・タテイルは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルファイラー及びタテイルアンダーEPOは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち放しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高圧洗浄後にタテイルシーラー又はタテイルパワーシーラーを塗布してから使用して下さい。
- ・タテイルは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行なって下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

金属系外壁(一般鉄部・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルエポサビ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~2ℓ	0.16 (kg/m ² /回)	100m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイル 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	10kg 2kg 0~6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	80~120m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	エアレス 4時間以上 ローラー 16時間以上

●タテイルエポサビ

(弱溶剤2液反応硬化形エポキシ系樹脂脂肪錆プライマー)

■荷姿

16kgセット 主剤:14.4kg
硬化剤:1.6kg

■可使時間

8時間以内(23℃)

■適用基材

金属系屋根・鋼板・亜鉛メッキ鋼板(亜鉛メッキ鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)

■標準色 3色

ホワイト(遮熱用)
ブラウン
グレー

●タテイル

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料)

■荷姿

12kgセット 主剤:10kg
硬化剤:2kg

■可使時間

5時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意
事項

- ・タテイルエポサビ及びタテイルは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルエポサビの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルエポサビ及びタテイルは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

屋根	窯業系
標準施工仕様	

(コロナール・カラーベスト・波形石綿スレート・等)

工程	材 料	調 合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗り回数	間隔時間(23°C)	
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。							
2.下塗り	ダブルプライマー (色:遮熱ホワイト)	主 剤 硬化剤	14kg 2kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 中毛ローラー	1~2回	1日以上 5日以内
	塗料用シンナーA		0~2ℓ					
3.上塗り	タテイルサンクール	主 剤 硬化剤	10kg 2kg	0.15~0.20 (kg/m ² /回)	60~80m ²	刷毛 中毛ローラー	2回	16時間以上
	塗料用シンナーA		0~3ℓ					

●ダブルプライマー(遮熱ホワイト)

(2液弱溶剤形中塗り兼用カラープライマー)

■荷姿

16kgセット 主 剤: 14kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

4時間以内(23°C)
※夏場2時間以内

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナール・カラーベスト・厚型スレート瓦・等

●タテイルサンクール

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料遮熱タイプ)

■荷姿

12kgセット 主 剤: 10kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

4時間以内(23°C)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナール・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注 意 事 項

- ・ダブルプライマーの色は必ず遮熱ホワイトを使用して下さい。遮熱ホワイト以外の色を使用しますと、遮熱効果が十分に発揮出来ません。
- ・ダブルプライマーは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・ダブルプライマーは、2液反応硬化形ですので、混合後の可使用時間を厳守し、特に夏場は2時間を目安に使い切ってください。可使用時間以内に使用できなかった場合、下地や上塗材との付着力が低下しますので、必要に応じて都度小分けしてご使用ください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、ダブルプライマーの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・ダブルプライマーの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- ・タテイルサンクールは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルサンクールは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルサンクールは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルサンクールは屋根用標準色(16色)を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・コロナール・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・ダブルプライマー及びタテイルサンクールは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

屋根	金属系
標準施工仕様	

(トタン・鋼板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②コケ・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルエポサビ(ホワイト) 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~2ℓ	0.16 (kg/㎡/回)	100㎡	刷毛 中毛ローラー	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルサンクール 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	10kg 2kg 0~3ℓ	0.15~0.20 (kg/㎡/回)	60~80㎡	刷毛 中毛ローラー	2回	16時間以上

●タテイルエポサビ(ホワイト)

(弱溶剤2液反応硬化形エポキシ系樹脂防錆プライマー)

■荷姿

主剤:14.4kg
16kgセット
硬化剤:1.6kg

■可使時間

8時間以内(23°C)

■適用基材

金属系屋根・鋼板・亜鉛メッキ鋼板(亜鉛メッキ鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)

■標準色 3色

ホワイト(遮熱用)
ブラウン
グレー

●タテイルサンクール

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料遮熱タイプ)

■荷姿

主剤:10kg
12kgセット
硬化剤:2kg

■可使時間

4時間以内(23°C)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・タテイルエポサビ(ホワイト)及びタテイルサンクールは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルエポサビ(ホワイト)の塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆の発生及び遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- ・タテイルサンクールは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルサンクールは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルサンクールは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルサンクールは屋根用標準色(16色)を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・タテイルエポサビ(ホワイト)及びタテイルサンクールは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にししっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

外壁	窯業系
標準施工仕様	

(サイディングボード・押出し成形セメント板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下塗り	ダブルプライマー (色:遮熱ホワイト)	主剤 硬化剤	14kg 2kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 中毛ローラー	1~2回	1日以上 5日以内
	塗料用シンナーA		0~2ℓ					
3.上塗り	タテイルサンクール	主剤 硬化剤	10kg 2kg	0.15~0.20 (kg/m ² /回)	60~80m ²	刷毛 中毛ローラー	2回	16時間以上
	塗料用シンナーA		0~3ℓ					

●ダブルプライマー(遮熱ホワイト)

(2液弱溶剤形中塗り兼用カラープライマー)

■荷姿

16kgセット 主剤: 14kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

4時間以内(23℃)
※夏場2時間以内

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・等

●タテイルサンクール

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料遮熱タイプ)

■荷姿

12kgセット 主剤: 10kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

4時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・ダブルプライマーの色は必ず遮熱ホワイトを使用して下さい。遮熱ホワイト以外の色を使用しますと、遮熱効果が十分に発揮出来ません。
- ・ダブルプライマーは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・ダブルプライマーは、2液反応硬化形ですので、混合後の可使用時間を厳守し、特に夏場は2時間を目安に使い切ってください。可使用時間以内に使用できなかった場合、下地や上塗料との付着力が低下しますので、必要に応じて都度小分けしてご使用ください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、ダブルプライマーの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・ダブルプライマーの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- ・タテイルサンクールは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルサンクールは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルサンクールは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルサンクールは外壁用標準色(20色)を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要に上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・ダブルプライマー及びタテイルサンクールは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下地調整	タテイルフィラー	16kg	0.30~1.00 (kg/m ² /回)	16~53m ²	※1	1~2回	16時間以上
	タテイルアンダーEPO	16kg	0.30~1.00 (kg/m ² /回)	16~53m ²	※2	1~2回	16時間以上
3.上塗り	タテイルサンクール 主剤	10kg	0.15~0.20 (kg/m ² /回)	60~80m ²	刷毛 中毛ローラー	2回	16時間以上
	硬化剤	2kg					
	塗料用シンナーA	0~3ℓ					

●タテイルフィラー

(アクリルエマルジョン系微弾性シーラーレスフィラー)

- 荷姿 16kg缶
- ※1 中毛ローラー(清水1.0~1.3ℓ)
 多孔質ローラー(清水0.5~0.8ℓ)
 ジュラクガン(清水1.3~2.0ℓ)

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
 (注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルアンダーEPO

(水性1液シリコンエポキシ系微弾性シーラーレスフィラー)

- 荷姿 16kg缶
- ※2 中毛ローラー(清水0.8~1.6ℓ)
 多孔質ローラー(清水0.4~0.8ℓ)
 ジュラクガン(清水0.4~1.6ℓ)

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
 (注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルサンクール

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料遮熱タイプ)

- 荷姿 12kgセット
- 可使時間 4時間以内(23℃)
- 主剤:10kg
 硬化剤:2kg

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・タテイルサンクールは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルフィラー及びタテイルアンダーEPOは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち放しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高圧洗浄後にタテイルシーラー又はタテイルパワーシーラーを塗布してから使用して下さい。
- ・タテイルサンクールは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルサンクールは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルサンクールは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないバラベツ・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルサンクールは外壁用標準色(20色)を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルサンクールは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

外壁	金属系
標準施工仕様	

金属系外壁(一般鉄部・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルエポサビ(ホワイト) 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~2ℓ	0.16 (kg/m ² /回)	100m ²	刷毛 中毛ローラー	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルサンクール 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	10kg 2kg 0~3ℓ	0.15~0.20 (kg/m ² /回)	60~80m ²	刷毛 中毛ローラー	2回	16時間以上

●タテイルエポサビ(ホワイト)

(弱溶剤2液反応硬化形エポキシ系樹脂防錆プライマー)

■荷姿

16kgセット 主剤:14.4kg
硬化剤: 1.6kg

■可使時間

8時間以内(23℃)

■適用基材

金属系屋根・鋼板・亜鉛メッキ鋼板(亜鉛メッキ鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)

■標準色 3色

ホワイト(遮熱用)
ブラウン
グレー

●タテイルサンクール

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料遮熱タイプ)

■荷姿

12kgセット 主剤:10kg
硬化剤: 2kg

■可使時間

4時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナール・カラーベスト・厚型スレート瓦・タン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意
事項

- ・タテイルエポサビ(ホワイト)及びタテイルサンクールは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルエポサビ(ホワイト)の塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆の発生及び遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- ・タテイルサンクールは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルサンクールは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルサンクールは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルサンクールは外壁用標準色(20色)を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要に塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルエポサビ(ホワイト)及びタテイルサンクールは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

(意匠サイディングボード)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にして下さい。③チョーキングが多い面には施工出来ません。施工前診断を行い、白亜化等級2以下を目安にして下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。⑦吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り	クリヤベース 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~2ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	1日以上 5日以内
3.上塗り	タテイル美館 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	10kg 2kg 0~1.8ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	80~120m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	-

●クリヤベース

(2液弱溶剤形無機クリヤー塗料用プライマー)

■荷姿

16kgセット 主剤: 14kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

4時間以内(23℃)
(夏場2時間以内)

■適用基材

意匠サイディングボード

●タテイル美館

(弱溶剤2液反応硬化形無機塗料クリヤータイプ)

■荷姿

12kgセット 主剤: 10kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

8時間以内(23℃)

■適用基材

意匠サイディングボード

■施工前診断(タテイル美館の施工に当たり、施工前診断による調査は必ず実施して下さい。)

- ・チョーキングや汚れが目立つ前に塗り替えることが最適です。外観上は全く異常が認められないサイディングであったとしても、肉眼では見られないクラックが認められる場合があります。
- ・日本窯業外装材協会発行の「維持管理のしおり」の中で、窯業系サイディング(外装材)は、5年以上経過したら塗り替えを実施するように明示してあります。5年経過後早い時期に塗り替えを行うことが必要で、時期が遅くなるとチョーキング等の影響からタテイル美館による改修が不可となります。
- ・タテイル美館はクリヤー(透明)仕上げとなるため、下地によってはその下地の状況が反映され汚れやチョーキングが著しいムラになり、クリヤー仕上げが難しいものとなります。付着不良・白化・剥離の原因ともなります。
- ・施工に適さないチョーキング面には絶対に施工しないで下さい。付着不良・白化・剥離が発生する恐れがあります。無理せず、タテイル又はタテイルサンクルールによる塗り替えに変更して下さい。
- ・施工前診断は、JIS K 5600-8-6白亜化の等級に準拠し、対比評価して下さい。(JISハンドブック等を使用して下さい。)

- 注意**
- ・クリヤベース及びタテイル美館は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
 - ・クリヤベースは、2液反応硬化形ですので、混合後の可使用時間を厳守し、特に夏場は2時間を目安に使い切ってください。可使用時間以内に使用できなかった場合、下地や上塗材との付着力が低下しますので、必要に応じて都度小分けしてご使用ください。
 - ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、施工出来ません。
 - ・施工にあたっては、同一方法で、入り隅・出隅等見切りのよいところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗継ぎはムラの原因になります。
 - ・チョーキングが目立つ下地に対して塗装しないで下さい。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
 - ・シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。
 - ・タテイル美館は超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
 - ・クリヤベース及びタテイル美館は、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
 - ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
 - ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
 - ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
 - ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
 - ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
 - ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
 - ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりに不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
 - ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
 - ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
 - ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
 - ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
 - ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
 - ・塗装後は、水洗い及びうがいを充分に行ってください。
 - ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
 - ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
 - ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

屋根	窯業系
標準施工仕様	

(コロニアル・カラーベスト・波形石綿スレート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルパワーシーラー 主剤 硬化剤 無希釈	14kg 1kg	0.10~0.20 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	2時間以上 3日以内
3.上塗り	タテイルアクア 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~1.6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	107~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	2時間以上

●タテイルパワーシーラー

(弱溶剤2液反応硬化形ウレタン系シーラー)

■荷姿	■可使用時間
主剤:14kg 15kgセット 硬化剤:1kg	5時間以内(23°C)

■適用基材
 コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・等

●タテイルアクア

(水性2液反応硬化形無機塗料)

■荷姿	■可使用時間
主剤:15kg 16kgセット 硬化剤:1kg	4時間以内(23°C)

■適用基材
 一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

注意事項

- ・タテイルパワーシーラー及びタテイルアクアは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイル美館アクアは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、タテイルパワーシーラーの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・タテイルアクアは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルアクアは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルアクアは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・コロニアル・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・タテイルパワーシーラーは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

屋根	金属系
標準施工仕様	

(トタン・鋼板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②コケ・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルエポサビ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~2ℓ	0.16 (kg/m ² /回)	100m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルアクア 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~1.6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	107~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	2時間以上

●タテイルエポサビ

(弱溶剤2液反応硬化形エポキシ系樹脂防錆プライマー)

■荷姿

16kgセット
主剤: 14.4kg
硬化剤: 1.6kg

■可使時間

8時間以内(23°C)

■適用基材

金属系屋根・鋼板・亜鉛メッキ鋼板(亜鉛メッキ鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)

■標準色 3色

ホワイト(遮熱用)
ブラウン
グレー

●タテイルアクア

(水性2液反応硬化形無機塗料)

■荷姿

16kgセット
主剤: 15kg
硬化剤: 1kg

■可使時間

4時間以内(23°C)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・タテイルエポサビ及びタテイルアクアは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイル美館アクアは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいため手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルエポサビの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルアクアは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルアクアは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルアクアは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルエポサビは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えては必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

(サイディングボード・押し成形セメント板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。							
2.下塗り	タテイルシーラー 無希釈		15kg	0.10~0.20 (kg/m ² /回)	75~150m ²	※1	1~2回	2時間以上
	クオリティEPOサーフ 主剤 硬化剤 清水		4kg 12kg 1~2ℓ	0.18~0.25 (kg/m ² /回)	64~88m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	16時間以上 7日以内 工程内4以上
3.上塗り	タテイルアクア 主剤 硬化剤		15kg 1kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	107~160m ²	刷毛 ローラー	2回	2時間以上
	清水		0~1.6ℓ			エアレス		

●タテイルシーラー

(水性1液カチオン形万能エポキシシーラー)

- 荷姿 15kg缶
- ※1 刷毛
ローラー
エアレス

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●クオリティEPOサーフ

(2液水性形エポキシ系サーフェーサー)

- 荷姿 16kgセット
- 可使時間 4時間以内(23℃)
- 主剤: 4kg
硬化剤: 12kg

■適用基材

コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・押し成形セメント板等

●タテイルアクア

(水性2液反応硬化形無機塗料)

- 荷姿 16kgセット
- 可使時間 4時間以内(23℃)
- 主剤: 15kg
硬化剤: 1kg

■適用基材(下地)

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

注意事項

- ・クオリティEPOサーフは2液反応硬化形ですので練り混ぜ後、約20~30分放置し熟成させてください。
- ・クオリティEPOサーフは水性2液反応硬化形ですので間隔時間16時間は厳守してください。
- ・クオリティEPOサーフ及びタテイルアクアは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイル美館アクアは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルシーラーとタテイルアクアを混合するとゲル化しますので容器・刷毛・ローラー等の共用は避けて下さい。
- ・タテイルアクアは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルアクアは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルアクアは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・タテイルシーラーはカチオン系塗料ですので、他種塗料との混合は出来ません。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壤等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

外壁	RC・PC
標準施工仕様	

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下地調整	タテイルファイラー	16kg	0.30~1.00 (kg/m ² /回)	16~53m ²	※1	1~2回	16時間以上
	タテイルアンダーEPO	16kg	0.30~1.00 (kg/m ² /回)	16~53m ²	※2	1~2回	16時間以上
3.上塗り	タテイルアクア 主剤	15kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	107~160m ²	刷毛	2回	2時間以上
	硬化剤	1kg					
	清水	0~1.6ℓ			ローラー エアレス		

●タテイルファイラー

(アクリルエマルジョン系微弾性シーラーレスファイラー)

- 荷姿 16kg缶
- ※1 中毛ローラー(清水1.0~1.3ℓ)
多孔質ローラー(清水0.5~0.8ℓ)
ジュラクガン(清水1.3~2.0ℓ)

- 適用基材
コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルアンダーEPO

(水性1液シリコンエポキシ系微弾性シーラーレスファイラー)

- 荷姿 16kg缶
- ※2 中毛ローラー(清水0.8~1.6ℓ)
多孔質ローラー(清水0.4~0.8ℓ)
ジュラクガン(清水0.4~1.6ℓ)

- 適用基材
コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルアクア

(水性2液反応硬化形無機塗料)

- 荷姿 16kgセット
- 主剤: 15kg
- 硬化剤: 1kg
- 可使時間 4時間以内(23℃)
- 適用基材
一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

!
 注
 意
 事
 項

- ・タテイルアクアは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイル美館アクアは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルファイラー及びタテイルアンダーEPOは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち放しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高圧洗浄後にタテイルシーラー又はタテイルパワーシーラーを塗布してから使用して下さい。
- ・タテイルアクアは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルアクアは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルアクアは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降る地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

外壁	金属系
標準施工仕様	

金属系外壁(一般鉄部・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	タテイルエポサビ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~2ℓ	0.16 (kg/m ² /回)	100m ²	刷毛 ローラー エアレス	1~2回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルアクア 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~1.6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	107~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	2時間以上

●タテイルエポサビ

(弱溶剤2液反応硬化形エポキシ系樹脂防錆プライマー)

■荷姿

16kgセット 主剤:14.4kg
硬化剤:1.6kg

■可使用時間

8時間以内(23℃)

■適用基材

金属系屋根・鋼板・亜鉛メッキ鋼板(亜鉛メッキ鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)

■標準色 3色

ホワイト(遮熱用)
ブラウン
グレー

●タテイルアクア

(水性2液反応硬化形無機塗料)

■荷姿

16kgセット 主剤:15kg
硬化剤:1kg

■可使用時間

4時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等


**注
意
事
項**

- ・タテイルエポサビ及びタテイルアクアは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイル美館アクアは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいのを手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルエポサビの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルアクアは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルアクアは必ず2回塗りて仕上げして下さい。
- ・タテイルアクアは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルエポサビは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

外壁	意匠S
標準施工仕様	

(意匠サイディングボード)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にして下さい。③チョーキングが多い面には施工出来ません。施工前診断を行い、白亜化等級2以下を目安にして下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。⑦吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り	クリヤベース 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~2ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	1日以上 5日以内
3.上塗り	タテイル美館アクア 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~1.6ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	107~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	-

●クリヤベース

(2液弱溶剤形無機クリヤー塗料用プライマー)

■荷姿

16kgセット 主剤: 14kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

4時間以内(23℃)
(夏場2時間以内)

■適用基材

意匠サイディングボード

■施工前診断(タテイル美館アクアの施工に当たり、施工前診断による調査は必ず実施して下さい。)

- ・チョーキングや汚れが目立つ前に塗り替えることが最適です。外観上は全く異常が認められないサイディングであったとしても、肉眼では見られないクラックが認められる場合があります。
- ・日本窯業外装材協会発行の「維持管理のしおり」の中で、窯業系サイディング(外装材)は、5年以上経過したら塗り替えを実施するように明示してあります。5年経過後早い時期に塗り替えを行うことが必要で、時期が遅くなるとチョーキング等の影響からタテイル美館アクアによる改修が不可となります。
- ・タテイル美館アクアはクリヤー(透明)仕上げとなるため、下地によってはその下地の状況が反映され汚れやチョーキングが著しいムラになり、クリヤー仕上げが難しいものとなります。付着不良・白化・剥離の原因ともなります。
- ・施工に適さないチョーキング面には絶対に施工しないで下さい。付着不良・白化・剥離が発生する恐れがあります。無理せず、タテイル又はタテイルサンクルールによる塗り替えに変更して下さい。
- ・施工前診断は、JIS K 5600-8・6白亜化の等級に準拠し、対比評価して下さい。(JISハンドブック等を使用して下さい。)

●タテイル美館アクア

(水性2液反応硬化形無機塗料クリヤータイプ)

■荷姿

16kgセット 主剤: 15kg
硬化剤: 1kg

■可使用時間

8時間以内(23℃)

■適用基材

意匠サイディングボード



注意事項

- ・クリヤベース及びタテイル美館アクアは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合は、調合割合を守り、電動攪拌機等により十分攪拌して下さい。またタテイル美館アクアは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいため手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・クリヤベースは、2液反応硬化形ですので、混合後の可使用時間を厳守し、特に夏場は2時間を目安に使い切ってください。可使用時間以内に使用できなかった場合、下地や上塗材との付着力が低下しますので、必要に応じて都度小分けしてご使用ください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、施工出来ません。
- ・施工にあたっては、同一方法で、入り隅・出隅等見切りのよいところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗継ぎはムラの原因となります。
- ・チョーキングが目立つ下地に対して塗装しないで下さい。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- ・シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本として下さい。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生して下さい。
- ・タテイル美館アクアは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木の無いパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・クリヤベースは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(コロナール・カラーベスト・波形石綿スレート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて除去して下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	シリコン浸透シーラー-EX 主剤 硬化剤 無希釈	12.5kg 2.5kg	0.10~0.20 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 中毛ローラー エアレス	1~2回	3時間以上 7日以内
3.中塗り	セラベース 清水	16kg 0~1.6ℓ	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	5時間以上
4.上塗り	タテイルフロ 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~0.8ℓ	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	—

●シリコン浸透シーラー-EX

(2液弱溶剤形シリコンエポキシ浸透シーラー)

■荷姿

15kgセット 主剤: 12.5kg
硬化剤: 2.5kg

■可使時間

4時間以内(23°C)

■適用基材

押出成形セメント板・住宅用化粧スレート屋根・サイディングボード
 けい酸カルシウム板・モルタル・コンクリート・ブロック・PC板・ALC
 GRG・FRP樹脂・硬質塩ビ・木部・鉄部・電気亜鉛メッキ・カラートタン
 アルミニウム・ステンレス・ガルバリウム鋼板・等

●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

■荷姿

16kg/缶

●タテイルフロ

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

■荷姿

16kgセット 主剤: 15kg
硬化剤: 1kg

■可使時間

5時間以内(23°C)



注意事項

- ・シリコン浸透シーラー-EX及びタテイルフロは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合はシリコン浸透シーラー-EXの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・タテイルフロは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルフロは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・コロナール・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・シリコン浸透シーラー-EX及びタテイルフロは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

屋根	金属系
標準施工仕様	

(トタン・鋼板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面目粗し後、清掃ケレンを行って下さい。②コケ・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	メタルガードエポ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~1.6ℓ	0.15~0.18 (kg/m ² /回)	89~106m ²	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回	4時間以上 7日以内
3.中塗り	セラベース 清水	16kg 0~1.6ℓ	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	5時間以上
4.上塗り	タテイルフロ 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~0.8ℓ	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	—

●メタルガードエポ

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

■荷姿

16kgセット

■色

・ブラウン ・ブラック
 ・ホワイト ・グレー

■適用基材

鉄、ステンレス、電気亜鉛メッキ、
 アルミ(A1050P)、FRP板、旧塗膜、
 焼付鋼板、他

●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

■荷姿

16kg/缶

●タテイルフロ

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

■荷姿

16kgセット

主剤:15kg
 硬化剤:1kg

■可使時間

5時間以内(23°C)



注意事項

- ・メタルガードエポ、タテイルフロは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいのを手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・メタルガードエポの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルフロは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルフロは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・メタルガードエポは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

(窯業系サイディング、意匠性サイディング等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高压洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り ※右記 いずれか	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	クオリティサーフ 清水	15kg 0.3~1.0ℓ	0.18~0.3 (kg/m ² /回)	50~83m ²	刷毛 中毛ローラー	1回	3以上
3.中塗り	セラベース	16kg	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー	1回	5時間以上
	清水	0~1.6ℓ			エアレス		
4.上塗り	タテイルフロンの 主剤	15kg	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛	1回	—
	硬化剤	1kg			ローラー		
	清水	0~0.8ℓ			エアレス		

●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

■荷姿
15kg缶

■施工用具
刷毛
ローラー
エアレス

■適用基材

コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

■荷姿
16kg/缶

●クオリティサーフ

(1液水性形特殊シリコン樹脂サーフェーサー)

■荷姿
15kg缶

■施工用具
刷毛
ローラー

■適用基材

コンクリート・モルタル・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン

●タテイルフロンの

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

■荷姿

16kgセット
主剤:15kg
硬化剤:1kg

■可使時間

5時間以内(23℃)



注意事項

- マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- クオリティサーフは高粘度製品ですが、仕様上の希釈率を超えて使用すると隠ぺい性の低下や密着不良となる可能性がありますので、規定の仕様を守ってご使用ください。
- タテイルフロンの、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロンの水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいため、手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- マルチ浸透シールとタテイルフロンの混合するとゲル化しますので容器・刷毛・ローラー等の共用は避けて下さい。
- タテイルフロンの、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- タテイルフロンの超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高压洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にし、養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因になります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- 材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- 塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行なって下さい。
- 塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

外壁	RC・PC
標準施工仕様	

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り、 下地調整	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	コットンファイラー	15kg	0.2~0.45	33~75m ²	中毛ローラー刷毛	1回	4時間以上
			0.5~0.8	18~30m ²	多孔質ローラー		
	清水	0.5~1.2ℓ	0.5~0.8	18~30m ²	リシガン		
その他、下地に応じて適切な下塗材を選定してください。							
3.中塗り	セラベース	16kg	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	5時間以上
	清水	0~1.6ℓ					
4.上塗り	タテイルフロ 主剤	15kg	0.1~0.15 (kg/m ²)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	—
	硬化剤	1kg					
	清水	0~0.8ℓ					

●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

- 荷姿 15kg缶
- 施工用具 刷毛、ローラー、エアレス

- 適用基材
コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁
サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

- 荷姿 16kg/缶

●コットンファイラー

(水性1液形特殊軽量弾性断熱ファイラー)

- 荷姿 15kg/缶
- 適用基材
コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・
一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルフロ

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

- 荷姿 16kgセット
- 可使時間 5時間以内(23℃)
- 主剤:15kg
- 硬化剤:1kg



注
意
事
項

- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入ってください。
- ・コットンファイラーは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち直しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高圧洗浄後にマルチ浸透シール、又はシリコン浸透シーラーEXを塗布してから使用して下さい。
- ・タテイルフロは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルフロは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルフロは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因となる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、水洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

外壁	金属系
標準施工仕様	

金属系外壁(一般鉄部・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	メタルガードエポ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~1.6ℓ	0.15~0.18 (kg/m ² /回)	89~106m ²	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回	4時間以上 7日以内
3.中塗り	セラベース 清水	16kg 0~1.6ℓ	0.1~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	5時間以上
4.上塗り	タテイルフロン 主剤 硬化剤 清水	15kg 1kg 0~0.8ℓ	0.1~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	1回	—

●メタルガードエポ

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

■荷姿

16kgセット

■色

・ブラウン ・ブラック
 ・ホワイト ・グレー

■適用基材

鉄、ステンレス、電気亜鉛メッキ、
 アルミ(A1050P)、FRP板、旧塗膜、
 焼付鋼板、他

●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

■荷姿

16kg/缶

●タテイルフロン

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

■荷姿

16kgセット
 主剤:15kg
 硬化剤:1kg

■可使時間

5時間以内(23℃)



注
意
事
項

- ・メタルガードエポ及びタテイルフロンは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロンは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・メタルガードエポの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルフロンは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルフロンは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・メタルガードエポは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(コロナール・カラーベスト・波形石綿スレート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて除去して下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	シリコン浸透シーラー-EX 主剤 硬化剤 無希釈	12.5kg 2.5kg	0.10~0.20 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 中毛ローラー エアレス	1~2回	3時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルα 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~5.5ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	4時間以上 7日以内

●シリコン浸透シーラー-EX

(2液弱溶剤形シリコンエポキシ浸透シーラー)

■荷姿

主剤: 12.5kg
硬化剤: 2.5kg
15kgセット

■可使用時間

4時間以内(23℃)

■適用基材

押出成形セメント板・住宅用化粧スレート屋根・サイディングボード
 けい酸カルシウム板・モルタル・コンクリート・ブロック・PC板・ALC
 GRC・FRP樹脂・硬質塩ビ・木部・鉄部・電気亜鉛メッキ・カラートタン
 アルミニウム・ステンレス・ガルバリウム鋼板・等

●タテイルα

(弱溶剤2液超低汚染形無機塗料)

■荷姿

主剤: 14kg
硬化剤: 2kg
16kgセット

■可使用時間

5時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナール・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・シリコン浸透シーラー-EX及びタテイルαは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、シリコン浸透シーラー-EXの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・タテイルαは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルαは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルαは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・コロナール・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・シリコン浸透シーラー-EX及びタテイルαは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(トタン・鋼板・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セツ)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆は2種ケレン(SSPC_SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面目粗し後、清掃ケレンを行って下さい。②コケ・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	メタルガードエポ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~1.6ℓ	0.15~0.18 (kg/m ² /回)	89~106m ²	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルα 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~5.5ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	4時間以上 7日以内

●メタルガードエポ

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

■荷姿

16kgセツ

■色

・ブラウン ・ブラック
 ・ホワイト ・グレー

■適用基材

鉄、ステンレス、電気亜鉛メッキ、
 アルミ(A1050P)、FRP板、旧塗膜、
 焼付鋼板、他

●タテイルα

(弱溶剤2液超低汚染形無機塗料)

■荷姿

16kgセツ
 主剤:14kg
 硬化剤: 2kg

■可使用時間

5時間以内(23°C)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・
 窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・
 波形スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・
 鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注意事項

- ・メタルガードエポ及びタテイルαは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・メタルガードエポの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルαは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルαは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルαは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・メタルガードエポ及びタテイルαは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降る地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(窯業系サイディング、意匠性サイディング等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り ※右記 いずれか	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	クオリティサーフ 清水	15kg 0.3~1.0ℓ	0.18~0.3 (kg/m ² /回)	50~83m ²	刷毛 中毛ローラー	1回	3以上
3.上塗り	タテイルα 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~5.5ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	4時間以上 7日以内

●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

■荷姿
15kg缶

■施工用具
刷毛
ローラー
エアレス

■適用基材

コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディング
ボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●クオリティサーフ

(1液水性形特殊シリコン樹脂サーフェーサー)

■荷姿
15kg缶

■施工用具
刷毛
ローラー

■適用基材

コンクリート・モルタル・一般外壁・サイディングボード・
吹付タイル・スタッコ・リシン

●タテイルα

(弱溶剤2液超低汚染形無機塗料)

■荷姿
16kgセット

主剤: 14kg
硬化剤: 2kg

■可使用時間

5時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・
窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形スレート
・コロナル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注 意 事 項

- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- ・クオリティサーフは高粘剤製品ですが、仕様上の希釈率を超えて使用すると隠れ性の低下や密着不良となる可能性がありますので、規定の仕様を守ってご使用ください。
- ・タテイルαは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、シリコン浸透シーラーEXを使用して下さい。
- ・タテイルαは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルαは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルαは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高压洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り、 下地調整	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m ² /回)	75~150m ²	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	コットンファイラー	15kg	0.2~0.45	33~75m ²	中毛ローラー刷毛	1回	4時間以上
			0.5~0.8	18~30m ²	多孔質ローラー		
	清水	0.5~1.2ℓ	0.5~0.8	18~30m ²	リシンガン		
その他、下地に応じて適切な下塗材を選定してください。							
3.上塗り	タテイルα 主剤	14kg	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛	2回	4時間以上 7日以内
	硬化剤	2kg			ローラー		
	塗料用シンナーA	0~5.5ℓ			エアレス		

●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

- 荷姿 15kg缶
- 施工用具 刷毛、ローラー、エアレス

- 適用基材
コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁
サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●コットンファイラー

(水性1液形特殊軽量弾性断熱ファイラー)

- 荷姿 15kg缶
- 適用基材
コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・
一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルα

(弱溶剤2液超低汚染形無機塗料)

- 荷姿 16kgセット
- 主剤: 14kg
- 硬化剤: 2kg
- 可使時間 5時間以内(23℃)
- 適用基材(下地)
一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボ
・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレ
瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

!

注

意

事

項

- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- ・コットンファイラーは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち放しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高压洗浄後にマルチ浸透シール、又はシリコン浸透シーラーEXを塗布してから使用して下さい。
- ・タテイルαは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・タテイルαは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルαは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルαは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・タテイルαは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高压洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

金属系外壁(一般鉄部・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	メタルガードエポ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~1.6ℓ	0.15~0.18 (kg/m ² /回)	89~106m ²	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	タテイルα 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14kg 2kg 0~5.5ℓ	0.10~0.15 (kg/m ² /回)	106~160m ²	刷毛 ローラー エアレス	2回	4時間以上 7日以内

●メタルガードエポ

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

■荷姿

16kgセット

■色

・ブラウン ・ブラック
 ・ホワイト ・グレー

■適用基材

鉄、ステンレス、電気亜鉛メッキ、
 アルミ(A1050P)、FRP板、旧塗膜、
 焼付鋼板、他

●タテイルα

(弱溶剤2液超低汚染形無機塗料)

■荷姿

16kgセット

主剤:14kg
 硬化剤:2kg

■可使用時間

5時間以内(23℃)

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロニアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等



注
意
事
項

- ・メタルガードエポ及びタテイルαは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・メタルガードエポの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・タテイルαは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルαは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・タテイルαは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要に塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・メタルガードエポ及びタテイルαは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。